

# 柔道整復師

から学ぶ

## マツコッ健康術

### 第十七回 「手で触れる」ことの大切さ

握手をする、手をつなぐ、手を取り合って喜んだり励まし合う……。人は信頼や気持ちを確認するとき、互いの手に触れ合うことがよくあります。手で直接触れるとの大切さを、誰もが感じているからでしょう。

同様に、具合が悪く体に痛みや不快感があるとき、その部位に手を当てたり、さすつてそれを持ち上げようとします。無意識

にしている場合もありますが、その行為には、血流の循環改善や温めるなどの効果も期待できるのです。それが病気やけがを治すときの「手当て」という言葉にもつながっています。

機械や科学の発達から、現代の医療現場では、患者さんに直接触れることが以前より減りました。検査技術も向上し、触診

しかし、機械的な検査や投薬による治療などでは、患者さんの心身を受け止めきれないこともあります。治療家が患者さんに触れること、その際に交わす会話は、さりげないふるまいに見えて、実は多くの情報を探る大切な行為なのです。

この触診の重要性を今も守り続けているのが柔道整復師です。皆さんも日頃から手で触れるとの大切さを意識してみてください。

(東京都・新井宏)

